

1 スナヤツメ南方種

(ヤツメウナギ科)

兵庫県ランク:B

Lethenteron sp.S.

環境省ランク:VU

種の概要

鰻型の細長い体型で成魚の全長は20 cm程度。アンモニーテス幼生を経て変態し、成魚になる。一生を淡水域で過ごす純淡水魚で、主に河川中流域の流れが緩やかで、水が滞らない砂泥底に生息する。繁殖は細礫底の流れの中に集まって行う。遺伝的に分化した北方種とは形態で区別することが困難である。国内では秋田県以南から九州北部に分布する。



県内における生息状況及びその他特記事項

県内での分布は比較的広く、淡路地域を除く主要河川の中流域に生息するが、個体数はあまり多くない。

写真提供:信本 励

保護上の留意点

生息場所は砂州の砂泥中で、河床材料の砂泥が固く締まらずに浮き砂泥状態で、ある程度流動することが必要と考えられる。適度な出水と土砂供給・流出のバランスが保たれている必要があると考えられる。

県内分布

三田市、西脇市、小野市、姫路市、宍粟市、たつの市、市川町、福崎町、神河町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、新温泉町、篠山市、丹波市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
特殊性	遺伝	
	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	

